

第 115 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時 : 2023 年 6 月 19 日 (月) 13:00~15:15
2. 場 所 : オンライン会議 (Zoom)
3. 出席者 (役職順/所属順、敬称略)
出席者 議長: 吉開範章、副議長: 南裕二、石川孝重、幹事: 木下宏揚、横山真吾
委員: 皆川勝、森下壮一郎、伊藤 和也、佐藤国仁、貴志公博、塩原亮一、
中野智仁
財務担当理事: 土井美和子、事業担当理事: 蘆立修一
アドバイザー: 三木哲也
オブザーバー: 吉沢清晴、事務局: 木暮 賢司

4. 議題

- ① 前回議事録(案)について(審議)(技倫資料115-2-[12])
- ② 土木学会講演
- ③ 公開シンポジウムの議題について(資料無し)
- ④ 会員学協会活動報告について(報告)
- ⑤ 次回第116回以降協議会日程について(審議)(資料なし)

5. 議事

- ① 土木学会倫理社会規範委員会教育小委員会委員長
秀島栄三先生(名古屋工業大学)から「土木学会からの話題提供」というタイトルで
ご講演していただいた。
- ② 公開シンポジウム
実施日と会場: 2023年12月4日(月曜) 機械振興会館
(但し、会場の環境や費用などから、他会場に変更の可能性あり)

主な議論:

- ・ 生成系AIと著作権
著作権に関して、日本と海外、特にヨーロッパとの違いがある。
AIに関する著作権も過程が異なるだけで人間と同様ではないか?
 - ・ AIと教育
学習の過程のひとつとして生成系AIを使うのは良いが、それだけに頼っては困る。
一つのツールとして使うのはよい。
学生に対して教員がどの範囲で生成系AIを利用してよいか示す必要がある。
オンライン講義におけるSARTRASのような枠組みで著作権を扱う必要がある。
 - ・ ELSIを総合的に研究する
 - ・ 倫理を判断するAI
画像の倫理的判断 作成側のメンタルケア 文書の倫理的判断
 - ・ 機械学習と公平性 バイアスのある学習データ ジェンダーバイアス
 - ・ ケーススタディとしての自動運転と倫理的判断
- ③ 会員学協会活動報告について(報告)(技倫資料113-5)
 - ④ 次回第114回以降協議会日程について(審議)(資料なし)
 - ・ 第115回: 2023年7月31日(月)
 - *時間: 10:00 ~ 11:30
 - *場所: Zoom

第 115 回技術倫理協議会（2023 年 6 月 19 日）会員学協会活動報告

	学協会名	報告概要
1	公正研究 推進協会	6 月 12 日（月）に理工学分科会を開催した。おもな議事は以下の通り。 1. 教材の新単元の内容等について審議し、今後の方向性を確認した。 1) 単元「AI に関する倫理」について、査読結果を踏まえて、タイトルを「人工知能に関する倫理とガバナンス」に変更するとともに、ChatGPT などの状況を踏まえて内容を大幅に修正し、編集の最終段階に入っている。 2) 単元「企業の技術開発に関する倫理」について、個人と組織と社会の関わりに関する執筆を中心に据えるなど内容検討を進める。 3) 「機微技術の管理」について、5 月 23 日（火）に開催された平井宏治先生（株式会社アシスト代表、一般社団法人日本戦略研究フォーラム政策提言委員）による講演会の内容を踏まえて執筆を開始する。 4) 「農学系の倫理課題」について、事例の収集、執筆者のリストアップなど検討を進めている。 2. 次年度より、APRIN の専務理事 2 名のうち 1 名が池田駿介先生（技術倫理協議会元議長）から長井寿先生に交代になる予定であることが報告された。 3. 既存単元「情報技術に関する倫理」についてユーザーの倫理を加える改訂を検討すること、「人工知能に関する倫理とガバナンス」について独自セミナーの開始を検討することとした。
2	電気学会	・ 6/15 に倫理委員会を開催し、今年度の活動計画を審議
3	電子情報 通信学会	6 月 6 日、『いわゆる「生成系 AI」について』の会長声明を発表した。 https://www.ieice.org/jpn_r/president/2022/statement.html 6 月 12 日（月）、13 日（火）、電子情報通信学会 電子化知的財産・社会基盤研究会（EIP）との合同研究会を立正大学 品川キャンパスにてハイブリッド開催した。 https://ken.ieice.org/ken/program/index.php?tgs_regid=10079c9fa7c5aa04347eb62ba2e4c33f0d1626238b3e3350e732a86ba3394ed1&tgid=IEICE-SITE SITE の企画セッションとして土屋俊先生（千葉大学）をお招きして 1998 年から 2003 にかけて実施された「情報倫理の構築プロジェクト」についてご講演いただいた。 さらに若手研究者として杉本俊介先生（慶應大学）と藤井秀之先生（NII セキュア）をパネリストとしてお招きし、情報倫理学の現代の課題についてパネル討論を実施した。 招待講演の会場参加者は 31 名、オンライン参加者は 25 名であった。
4	土木学会	この期間の活動はない。
5	日本化学 会	
6	日本機械	この期間の活動はない。

	学協会名	報告概要
	学会	
7	日本技術士会	1. 第 12 回倫理委員会 2023 年 5 月 31 日(水)15:00～16:45 ①「技術士倫理綱領」改定活動報告書をHPに公開。合わせて、月刊技術士 6 月号にも改定の経緯についての報告を掲載した。 ②5/12（金）に開催した第 14 回技術者倫理シンポジウム「不測の時代の技術者倫理」の報告とアンケート結果の紹介を行った。 ③2021～2022 年度期の倫理委員会活動報告を取りまとめ、次期倫理委員会への申し送りを行った。 2.今後の予定 ①6/15（木）に日本技術士会定時総会・臨時理事会が開催され、2022 年度の事業報告と 2023 年度の事業計画が報告され承認された。 また、倫理委員長など今年度の役員・各委員会体制が決定された。 ②技術倫理協議会の後任委員は 6 月中に紹介させていただく予定。
8	日本原子力学会	この期間の活動はない。
9	日本建築学会	
10	日本工学教育協会	・第 71 回年次大会・研究講演会におけるオーガナイズドセッションの開催準備 (2023/9/8) ・調査研究活動「社会の福利を志向する技術者育成（ポジティブエンジニアリング教育）の可能性の検討」2022/10～2023/9 ・今年度のワークショップ開催検討（ドラマ教材「Wake Up!」に関して開催予定） ・ドラマ教材「Wake Up!」を用いた学習活動に関するアセスメント方法の検討 ・研究倫理啓発教材開発検討 ・第 3 回委員会 6/7 開催
11	日本非破壊検査協会	
12	日本マリンエンジニアリング学会	

(以上)